

キャンプ瑞慶覧内米軍住宅工事に係るアスベスト違法搬出に係る経緯

- 2009（平成 21）年 3 月 9 日
 キャンプ瑞慶覧内の米軍住宅についてアスベストが使用されているにもかかわらず、適正な処理がなされることなく解体作業が行われているとの通報が工事関係者より市に寄せられた。
- 2009（平成 21）年 3 月 12 日
 防衛局専門官に電話で確認。「防衛局発注工事ではなく、米軍発注であり、改装工事について聞いてみる。アスベスト使用について米軍から報告はない。」との返答。
- 2009（平成 21）年 4 月 6 日
 アスベストがキャンプ瑞慶覧から運び出され、読谷村内の作業ヤードに運ばれたとの通報が寄せられる。読谷村や中部福祉保健所へ連絡し、保健所がサンプリング調査する。
- 2009（平成 21）年 4 月 7 日
 サンプリング調査により、アスベストが含まれていることが判明。
- 2009（平成 21）年 4 月 9 日
 琉球新報紙面にて掲載。
- 2009（平成 21）年 4 月 10 日
 市より沖縄防衛局及び海兵隊司令部に対し、アスベスト処理の経緯と原因を報告すること及び現場立ち会いを要請。
- 2009（平成 21）年 6 月 12 日
 沖縄防衛局から「米軍家族住宅の空調工事に伴うアスベスト処理について」のお知らせが公表されるが、事故処理についてのみの報告であり、その経過について明らかにされていない。



琉球新報（朝刊）
平成21年4月9日（木）

石綿検出

基地内実態把握は困難

告発男性の訴え「黙殺」

【宜野湾・読谷】ビニール袋や建築廃材などが山積みになったコンテナはトラックに積載され、宜野湾市のキャンプ瑞慶覧から搬出され、県道81号を伊佐方面に進み、国道58号を北上していった。読谷村内の廃棄物集積場内のコンテナから有毒物質のアスベスト（石綿）が検出された問題は、工事に携わっていた男性が「絶対にアスベストがあるはずだ」と関係当局に通報したことを端緒に明るみに出た。

キャンプ瑞慶覧から搬出されたコンテナを積み、読谷村の廃棄物集積場に到着したトラック
＝6日正午すぎ、読谷村



アスベストが検出された廃棄物が出た現場は基地のフェンスの向こう側だけに、実際に撤去作業の場にはアスベストがあったかなど不透明な部分も残っており、県の環境、基地対策関連部局は宜野湾市と連携を取りながら慎重に調査を進めている。

男性は以前、基地内で同工事に従事しており、三月下旬、空調機につながるダクト部分に保温剤として塗りつけられたアスベストの

「アスベストが飛散すれば、宜野湾市や読谷村だけの問題ではない。男性は危険性を指摘し、一日も早い問題解決を願った。」
（小波津智也）